

令和7年度事業計画

総務省統計局による人口推計では、令和7年1月1日現在（概算値）における65歳以上人口は3,621万人となり、総人口に占める割合（高齢化率）は29.3%となっています。今後、ますます高齢化の進展が見込まれるなか、高齢者の働き方に大きな役割を占めるシルバー人材センターは、現役職業生活引退後に充実した生活を送るための有力な選択肢であるとともに、地域社会の活性化や健康の保持増進にも大きく寄与しているところです。

高年齢者雇用安定法の改正や年金の支給年齢の引き上げなど、高齢者世代を取り巻く環境が大きな転換期を迎えているなか、第2次中期計画の初年度にあたる令和7年度は、次に示す施策を主に推進してまいります。

○推進施策

1. 会員数の拡大
2. 安全・適正就業の推進
3. 自主事業の活性化
4. 運営基盤の充実

○事業の実施内容

1. 会員数の拡大

年金の支給年齢の引上げに伴い60歳を過ぎてからもフルタイム勤務を望む人が増えていることや、事業主に対する雇用機会の確保措置が65歳まで延長されたことにより、新規入会者の平均年齢は上がっています。一方で、会員数は令和元年度末時点の483人から増加傾向にあり、令和6年度末時点では553人となりました。

令和7年度も、地域の高齢労働力に対する期待に応えるとともに、充実したセカンドライフの過ごし方として高齢者の社会参加を促し、会員数の拡大に努めます。

※令和7年度末目標：会員数570人

※具体的取組

- ①愛シ連や公共職業安定所などが行う会員数拡大事業への参加
- ②会員による新規会員登録事業の継続
- ③新たな自主事業の検討
- ④新たな受託事業創出のための半田市との協議

2. 安全・適正就業の推進

令和7年2月末現在の事故件数は、賠償事故2件、傷害事故2件、交通事故0件の合計4件でした。昨今の気候変動による猛暑日の増加や会員の高齢化などは就業時の体調に大きく関わってくる問題であり、ひとつ間違えば大きな事故に繋がりがかねません。安全はすべてに優先するとの認識のもと、事故件数0件を目指し、令和7年度も安全就業の徹底に取り組むとともに、会員の健康管理への意識向上をより一層図ってまいります。

※具体的取組

- ①作業機器の使用ルール策定に向けた協議の開始
- ②熱中症警戒アラート発令時など猛暑日の就業ルールの策定
- ③安全パトロールの強化

3. 自主事業の活性化（喫茶「楽」・シルバー農園）

喫茶「楽」は、お得で美味しいと評判のランチやアイプラザのイベントに合わせた休日営業により、売上額は令和5年度に比べ約11%増加しています。お弁当の受注が大幅に減ったため、売上額は来客数による影響が大きくなっていますが、評判のランチは会員のやりがいになっています。

令和7年度もお客様に喜んでもらえる店舗運営に努めてまいります。

※令和7年度目標：来客数6,500人（令和5年度実績6,273人）

※具体的取組

- ①衛生管理の徹底と居心地の良い店舗運営
- ②メニューやサービスの改善

シルバー農園は、継続した土壌改良により、お客様に喜んで頂けるような野菜が育つようになりました。しかし、令和6年度は猛暑日が続き、用水設備のない高根の農園ではキュウリやナスの生育に大きな影響が出ました。天候やマン・パワーに左右される農園事業ですが従事者は増えています。令和7年度は会員間の連携を深めながら安定した生産と美味しい野菜の育成に努めてまいります。

※令和7年度目標：売上75,000円（令和5年度実績：70,093円）

※具体的取組

- ①土壌改良や用水確保などの環境整備
- ②就労者確保のための広報や声掛けの継続実施

4. 運営基盤の充実

高年齢者雇用安定法の改正により会員の平均年齢は年々高くなっており、シルバー事業の運営に様々な影響を及ぼしています。一方で、人件費を含めた諸物価の高騰や老朽化した備品・設備への対応とともに、フリーランス法の施行による新たな契約方法への移行に向け、財政基盤の強化や業務の効率化を進めていく必要があります。

第2次中期計画の初年度に当たり、令和7年度は各課題に対して着実に取り組んでいけるような基盤整備に取り組みます。

※具体的取組

- ①除草・剪定等における見積方式の見直し
- ②新たな契約方式への移行準備（令和8年度開始）
- ③デジタル化の推進（Smile to Smile 登録率20%へ）
- ④事務所の在り方について半田市との協議開始